

会議名	港区青色防犯パトロール業務委託 第3回事業候補者選考委員会	
開催日時	令和7年2月6日（木曜日）午後2時から午後4時30分まで	
開催場所	912 会議室	
委員	玉川大学教師教育リサーチセンター指導員 芝地区総合支所長 三田警察署生活安全課長 高輪警察署生活安全課長 芝浦港南地区総合支所協働推進課長	福井 正仁（委員長） 横尾 恵理子（副委員長） 黒木 健次（委員） 山口 亜樹（委員） 中村 ゆかり（委員）
事務局	芝地区総合支所協働推進課協働推進係	
会議次第	1 開会 2 第二次審査実施概要について 3 事業候補者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施 （1）A事業者（30分） （2）B事業者（30分） 4 第二次審査結果及び事業候補者の選定について 5 閉会	
配付資料	[席上配付] ・ 次第 ・ 資料1 第二次審査実施概要 ・ 資料2 港区青色防犯パトロール業務委託事業候補者選考第二次審査日程表 ・ 資料3 第二次審査採点基準表 ・ 資料4 第二次審査共通質問事項趣旨 ・ 資料5 第一次審査・第二次審査集計結果 ・ 資料6 第二回港区青色防犯パトロール業務委託事業候補者選考委員会会議録 （案）	
会議の内容		
委員長	【1 開会】 （委員長より開会の挨拶）	
委員長	【2 第二次審査実施概要について】 （事務局より資料1と資料4について説明）  本件について、質問やご意見等がありますか。 （委員一同、質問なし）	
	【3 事業候補者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施】	

	(A事業者入室、プレゼンテーション (10分))
事務局	質問はありますか。
A委員	女性の雇用割合はどのくらいですか。
A事業者	10%程度です。今後、女性が働きやすい環境を整えるために、女性職員に話を聞きながら、雇用割合を2割3割と増やしていきたいと思います。
A委員	タブレット報告書について、情報を統合すると地図化された地域情報になるとありますが、どのくらいの期間運用すれば地図化できますか。
A事業者	地図化する情報にもよりますが、2・3か月程度あればある程度出来上がると思います。
A委員	2・3か月で地図化されたものは発注者も見ることができますか。
A事業者	見られます。出来上がった資料は、3年間の間に、区民の方に対するサービスとして使っていただけるようにしたいと考えています。
B委員	ウェブカメラや生成 AI、独自の報告システム等の活用事例を1つ教えてください。
A事業者	報告システムについては、パトロールをしながら写真を撮影し、時系列や被害の経過を追って報告できる仕組みを作り、地域課題の可視化を行いました。
B委員	地域活動に積極的に参加した事例を1つ教えてください。
A事業者	お神輿を担ぐのに呼ばれたことがうれしかったです。町会長と、普通の誘導員として参加しては絶対にできない話や悩みを聞くことができ、深く関われたと感じています。
B委員	登下校をはじめとした子どもの安全確保について、学校ごとに担当者を決めると書かれているが、どれぐらいの担当者がいますか。
A事業者	2人1組で巡回をしており、その倍の人数の体制を敷いています。4人のうち2人が担当者となっています。

C委員	車両の事故や故障の際、すぐに代替車両を用意することはできますか。
A事業者	2台の予備車を確保し、代替車両として準備します。
C委員	システムを使用すると情報漏洩について気になるところですが、情報を管理するサーバは自社で管理していますか。それとも委託ですか。
A事業者	委託して管理しています。また、情報セキュリティとして、階層ごとのアクセス権限を付与しています。
D委員	業務責任者の方に伺います。 これまで経験した中で、一番対応が難しかった事例を1つ教えてください。
A事業者	小学校から教育委員会を通して、区の方にお子さんがいなくなったとご連絡があり、探してほしいということがありました。 ご自宅のすぐそばで見つけたものの、お子さんは家に帰りたけれど帰れないという気持ちでご自宅のそばにいらっしやいました。 青パトとしては、女の子だったこともありできる限り刺激しないように、気を付けて対応をしました。
D委員	それを受けて以降、何か工夫されたり改善されたりしたことはありますか。
A事業者	深くまで踏み込みすぎず、気を付けて声かけを行っています。
D委員	業務責任者さんは、契約期間中に定年や退職の可能性はありますか。
A事業者	もし、任せていただければ3年間責任をもって努めます。
E委員	今回提案していただいた内容の中でどういうことが実現可能で、どういうところに重点を置きたいか教えてください。
A事業者	すべて実現可能です。特に、新技術の導入により見える化は、関係機関や区の方に対するサービスになればよいと思っています。
E委員	本業務を受託された場合、どの程度の経験を有する方が配置される予定で

	すか。
A事業者	5・6年の経験ある職員がいる一方、外国人や体の大きい人を採用しており、平均すると3年程度の経験ある職員を配置する予定です。
E委員	古い価値観や外国の方の文化の違い等をどのように更新していくか教えてください。
A事業者	コミュニケーションを積極的に行っています。また、業務シフトが重なる時間を設けており、その時間で周知を行っています。 みんなの前で行う教育はなかなか周知されないため、日頃から言い続けることを大切にしています。
事務局	質問は以上とします。A事業者の審査はこれで終了です。 (A事業者退出、委員は各自採点)  (B事業者入室、プレゼンテーション (10分))
事務局	質問はありますか。
A委員	女性の従業員はいらっしゃいますか。
B事業者	全体で2割ほどいます。
A委員	本業務を実施する際は、どのくらい女性を登用予定ですか。
B事業者	いまのところ1割程度です。
A委員	人材確保体制について、4月からお願いをすることになった場合、問題なく業務が実施可能か伺います。
B事業者	事業開始の1年前から計画しており、港区関連業務を優先に配置した従業員を配置する予定です。
A委員	地図開発システムについて、4月から始めたとしてどれぐらいの期間があればみられるようになりますか。
B事業者	地図開発システムは、既存のシステムを利用するため、すぐにできますが、

	報告システムは開発が必要なため時間が必要です。
B 委員	情報責任者や情報流出のための対策は行っていますか。
B 事業者	IS014001 という、情報セキュリティの企画を導入しており、システム担当者が情報管理責任者を担当しています。
B 委員	防犯ワークショップやグループディスカッションの実施を提案されていますが、どういう機会にどういう方を対象として実施されるのか、具体的に教えてください。
B 事業者	各総合支所の協働推進課と調整させていただき、弊社で得られた情報を展開させていただければと思います。
B 委員	外国人警備員を適切に配置すると提案されていらっしゃいますが、現時点で外国人警備員はどの程度配置されていらっしゃいますか。
B 事業者	全体では4割近くが、外国人対応ができる警備員です。本業務については、2割程度を予定しています。
B 委員	現状は英語やその他言語にも対応できる方がいらっしゃるのでしょうか。
B 事業者	はい。ございます。
C 委員	子どもや女性への声かけ事案や高齢者等への特殊詐欺事案などに対して、これまでどのような活動をされてきたか教えてください。
B 事業者	一番は、声掛けが重要です。警察の方とも携わってきた経験を活かし、職員の教育に取り入れています。
C 委員	地域の特性を把握するための情報収集は、どのように行いますか。
B 事業者	各業務を通じて情報を収集しています。また、警察や町会・自治会、商店会ともコミュニケーションをとって、情報収集を行っていきます。
C 委員	車両は何台稼働する予定でしょうか。
B 事業者	7台です。

C委員	例えば、事故や故障により車両が使えなくなった場合の代替は、考えていらっしゃいますか。
B事業者	管制本部の中に、予備隊・予備車両を備えており、何かあればオンコールシステム的に対応し、業務に穴をあけないよう対応します。
D委員	業務責任者の方は現在、多数の業務を担っていらっしゃいますが、本業務で選考された際には、専任として従事していただくことは可能でしょうか。
B事業者	本業務に選考いただいた際は、専任として従事可能です。
D委員	<p>子どもの安全に関する対策について、携帯電話等で連絡体制を確立するとありますが、港区では安全安心メールや緊急配信メールがあります。これらの取り組みはご存じでしたか。また、どのように活用されますか。</p> <p>また、掲示板についてはイメージがわからなかったので、詳しく教えてください。</p>
B事業者	<p>安全安心メールを共有させていただき、最新情報を弊社で情報を共有させていただきます。</p> <p>また、港区掲示板については、コロナウイルス蔓延や、東日本大震災の際に、掲示板に情報を掲示するという業務を担ったことがあり、またそのような情報共有をさせていただければと思っています。</p> <p>今回子どもの安全確保について、明記されていることもあるため、小学校から日次情報として情報共有させていただき、見守り活動に参加させていただければと思います。</p>
D委員	<p>業務責任者の方に伺います。</p> <p>これまで経験した中で、一番対応が難しかった事例を1つ教えてください。</p>
B事業者	啓発関係では、客引きが客待ちをして並んでしまっていることへの対策が難しかったです。
E委員	防犯ワークショップや地域防犯フォーラムは、御社が単独で実施されるのでしょうか。具体的にどのように実施をするか教えてください。
B事業者	各総合支所の協働推進課や町会・自治会等と協力させていただきたいと思

	<p>います。地域の防犯力を高めるための取り組みということで提案させていただきました。</p>
E委員	<p>企画提案書に、地域特性に合った防犯対策案で防犯カメラや街灯を記載されていますが、これも御社が設置するわけではなく、提案するというのですか。</p>
B事業者	<p>設置するのは自治体の方になるため、設置場所をご提言させていただければと思います。</p> <p>今回の立ち寄り場所でも要注意とされていた六本木3丁目の児童遊園について、港区で初めてA I付防犯カメラを設置するというような内容を地域の方々にも知っていただき、今後他の児童遊園や関係先に設置されるよう、協力させていただければと思います。</p>
E委員	<p>子どもに対するかかわり方をはじめ、近年様々な価値観が急速に変化していますが、外国人従業員の確保も積極的に行っている中で、どのように価値観を更新し、研修されていますか。</p>
B事業者	<p>子どもの目線に立てるよう、若年層の採用を積極的に行っています。また、迷惑行為者が若年化していることもあり、そういった目線に合わせた人材の配置を行っています。</p> <p>研修については、経験者が研修に立ち会い、水平展開できればと考えています。</p>
E委員	<p>どのような機会に研修をされますか。</p>
B事業者	<p>基本的には、法定研修の中で行っています。また、集合研修は年間を通じて常時行っています。この集合研修では、外国人だけを集めての研修や、全員へのマナー研修、子どもの関係の研修等も行っています。</p>
事務局	<p>質問は以上とします。B事業者の審査はこれで終了です。 (B事業者退出、委員は各自採点)</p>
事務局	<p>【4 第二次審査結果及び事業候補者の選定について】 (事務局より資料5について説明)</p> <p>集計の結果、第一次審査と合わせた総合結果は、A事業者1,183点、B事業者1,170点となりました。</p>

委員長	審査に当たり評価したポイントなどを各委員から順番に講評をお願いします。
D委員	<p>A事業者は、取り組みへの姿勢が前向きだったと思います。また、今求められている現場対応でのICTによる業務の効率化についても利便性を含めて取り組んでいこうという姿勢がくみ取れました。</p> <p>B事業者については、企画提案書にはとてもいい内容が書かれていましたが、ヒアリングをしてみると内容に主体性があまり見受けられず、発展性が少し弱いと感じました。</p>
B委員	<p>A事業者のほうが独自の取り組みを実績に基づいて話をされたと思います。ICTを活用した取組についても、カスタマイズを含めこれからよくしていこうという姿勢を見ることができました。</p> <p>B事業者については、D委員のお話と重複してしまっていますが、これから区役所をお願いしてとか、警察にとか、そういった話になり、自分たちがこうやっていくという主体性がみられなかったと思います。</p>
C委員	<p>セキュリティの関係の質問をさせていただきましたが、A事業者については、もう少し整理をして答えていただきたかったです。</p> <p>B事業者については、最低限なところを抑えていると感じました。</p>
A委員	<p>女性の登用について質問をしましたが、A事業者はこれから環境整備をして増やしていきたいという思いを聞くことができました。</p> <p>新たな提案の部分では、B事業者は、協働推進課と一緒に取り組むや、防犯カメラの位置の助言を行うという提案になっており、独自で取り組むという内容になっていたらよりよかったと思います。</p>
E委員	両事業者ともによい内容だったと思いますが、A事業者のほうの方がより具体性があり、実際にすぐ実現可能な印象が強かったです。
委員長	<p>各委員からの講評を踏まえ、採点を修正する委員はいますでしょうか。 (委員一同、質問なし)</p> <p>それでは、A事業者を事業候補者として選定します。</p>
委員長	<p>【5 閉会】 (委員長より閉会のあいさつ)</p>